学校番号	211

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家基 007-903 新図説家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	生活 Navi 資料＋成分表＋ICT2026　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業で学んだ内容を自分自身の生活に照らし合わせ、実際に生活の中で実践して下さい。その積み重ねが、生活をより良いものとすることに繋がります。また、グループワークを通して多様な考え方や価値観があることを学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける（知識及び技能）
・生活課題を主体的に見いだし、解決策を構想し実践する力を身につける（思考力・判断力・表現力等）
・よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章自分らしい生き方と家族	1節　生涯発達する人生 2 節　これからの人生をデザインする 3 節　青年期を生きる 4 節　生活を支える労働 5 節　生活時間から見えてくるもの 6節　男女共同参画社会をめざして 7 節　現代の家族 8 節　家族･家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9 節　家族に関する法律の理念と変化 10 節　家族にかかわる法律	a:人の一生には様々なライフイベントがあり、家族形態も多様であることと、家族に関する法律について理解している。 b:ワークライフバランスや法律と自分のかかわりについて理解し、成年年齢の変更や理由、権利と責任などについて、考察できる。 c:自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について考えようとする姿勢がみられる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	第2章子どもとかかわる	1節　子どもの誕生 2節　からだの発達 3 節　運動機能の発達と知的発達 4節　かかわりのなかの発達 5 節　子どもの生活習慣と健康 6節　子どもの食生活･衣生活 7節　子どもと遊び 8節　親になることを考えよう 9節　すこやかに育つ環境と支援 10節　子どもを守る法律･制度	a:子どもの心身の発達と特徴、その生活、子どものすこやかな発達を支える方法について理解している。 b:子どもの心身の発達と特徴、その生活、子どものすこやかな発達を支えるために、保育者としてどのような関わり方がよいか考察できる。 c:子どもの心身の発達と特徴、その生活、子どものすこやかな発達を支える方法について自分の現在・将来と結びつけながら考える姿勢がみられる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	第3章高齢者とかかわる	1節　高齢社会に生きる 2節　高齢者を知る 3 節　高齢者のサポートと介護の心 4節　高齢社会を支えるしくみ	a:高齢社会の現状と課題、高齢期の特徴について理解している。 b:高齢社会を社会全体で支えるしくみや、高齢者を介護する方法について考察できる。 c:高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとする姿勢がみられる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

	第4章社会とかかわる	1節　共に生きるために 2節　社会保障制度ー公助ー 3 節　社会の一員としての私たちの役割ー互助・共助ー	a:社会福祉の理念と社会保障制度について理解できる。 b:社会福祉の理念と社会保障制度について、現在の生活課題と関連させながら考察できる。 c:社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支え合う活動への興味・関心をもつ。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	a:ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 b:自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え計画を立てることができる。 c:自己の家庭生活と結びつけ、課題解決をしようという姿勢がみられる。	ワークシート	ワークシート スライド発表	ワークシート スライド発表
2	第5章食生活をつくる	1節　私たちの食生活と健康 2節　5 大栄養素 3節　炭水化物 4節　脂質 5節　たんぱく質 6節　ミネラル 7節　ビタミン 8節　その他の食品 9節　食品の選択と表示 10節　食品の衛生 11 節　食料自給率と食のグローバル化 12 節　食の未来と環境への取り組み 13節　食事摂取基準 14 節　食品群別摂取量のめやす 15節　献立作成 16節　調理の基本	a:食生活と健康のかかわり、栄養と食生活の安全・食の未来と環境について理解し、調理の基本技術を身につけている。 b:食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを利用しながら、実際の生活において家族のライフステージも考えながら献立を作成することができる。 c:自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組む姿勢がみられる。調理実習に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 観察 実習レポート 小テスト	ワークシート 観察 実習レポート 小テスト	ワークシート 観察 実習レポート
	第6章衣生活をつくる	1節　人と衣服のかかわり 2節　健康で安全な衣服 3節　衣服素材の種類と特徴 4節　衣服素材の性能と改善 5節　衣生活の計画と購入 6節　衣服の管理 7節　家庭での洗濯・保管 8 節　持続可能な衣生活をつくる	a:衣服と健康や社会とのかかわりや衣服の素材と手入れについて理解し、裁縫の基本技術を身に着けている。 b:衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけ、衣服管理において適切な判断ができる。衣類と資源の関係性について考察できる。 c:実生活において、衣類の入手から処分まで、計画的で持続可能な衣生活を営もうという姿勢がみられる。被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 観察 実習レポート 小テスト	ワークシート 観察 実習レポート 小テスト	ワークシート 観察 実習レポート

3	第7章住生活をつくる	1節　人と住まいのかかわり 2 節　平面計画からみた住空間 3 節　ライフステージと住まいの計画 4節　健康に配慮した住まい 5節　安全な住まい 6節　持続可能な住まい 7節　これからの住まい	a:住宅の機能、生活行為・ライフスタイル・ライフステージと住居の関係などを理解している。 b:ライフステージに応じた住まいについて考察することができる。 c:自分の現在・将来と結びつけながら、よりよい住環境を創造しようとする姿勢が見られる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	第8章経済的に自立する	1 節　日々の収入･支出を把握する 2節　社会と家計の変化 3 節　長期的な経済計画を立てる 4節　経済のなかの家計	a:家計の収入・支出、一生のリスクと対処法、保険や金融商品などの種類や特徴について理解している。 b:経済的な自立に向けて、長期的な経済設計が立てられるようになる。 c:家計の収入・支出、一生のリスクについて、自分の将来と結びつけて具体的に考えようとする姿勢がみられる。	小テスト ワークシート	小テスト ワークシート	ワークシート
	第9章消費行動を考える	1節　契約と主体的な消費行動 2節　多様化する販売方法と問題商法 3節　消費者を守る制度･法律 4節　多様化する支払い方法 5節　消費者の権利と責任 6 節　持続可能な社会の構築 7 節　持続可能な社会をめざす取り組み	a:契約の基本的な仕組み、販売方法と支払方法の多様化と注意点、問題商法の種類と対処法、環境に配慮した消費行動等について理解している。 b:問題商法の被害を未然に防ぎ、早期に解決するための方法や、環境に配慮した消費行動について考察できる。 c:生活情報を収集し、環境にも配慮した適切な消費行動をとろうとする姿勢がみられる。	小テスト ワークシート	小テスト ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度